

定期総会記念講演

『弥陀に引かれて』

寿福山無量院寛慶寺住職 水科 善隆さん (高 26)



「赤石山は巍々として…」。そう飯田高校校歌冒頭の歌詞です。ふるさとを離れて50年経ちますが、未だに自然と歌詞とメロディーを口ずさむことが出

来ます。校歌を口ずさむとき思い浮かぶのは、校舎の屋上から眺めた伊那谷の風景と高校生活です。新緑の頃伊那谷を吹き抜ける風の心地よさ。自主を重んじ勉学の場を与えてくださった飯田高校。

飯田高校卒業生としての誇りと良き同級生と過ごした思い出を胸に人生を歩んで参りました。齢60歳後半となり昨今は自身の終活と次世代へのバトンタッチをしなければと日々過ごしております。

今般飯田高校同窓会定期総会におきましてお話をさせて頂く機会を得ましたこと有り難く存じます。私の人生経験を通じ人の生き方について皆様と考えてみたいと思います。

【講師略歴】

1980年、大正大学仏教学部梵文学科卒。増上寺で伝宗伝戒を相承。1982年、水科善臣上人に師僧変更、水科善臣夫妻と養子縁組、寛慶寺入山、名前を善隆に変更。1987年、延命院住職。2002年、寛慶寺住職。

アトラクション 飯田高校弦楽班 演奏